



“源溪山だより”

<https://chouanji.p-kit.com/> 令和7年9月③
住職 恩田仁志 gen-chouanji@aka2.gmob.jp



◆90年以上前の写真をいただきました

昭和7年に撮られたと思われる写真を、寄贈いただきました。(右下記述参照) 90年以上前ということになります。

場所は本堂に向かって左側のところ。石段はもちろん今と同じですが、写真の左端にちょっとだけ写っている十王堂や、本堂から観音堂に向かう橋も、修繕や掛け替えがなされているものの、現在と変わらない景色です。

石段に並ぶ檀家の方々に洋装の人はいません。羽織はかま姿の方もおられます。女性の髪型も当時の流行を感じさせます。

石段前中央の^{たてもうす}とんがり帽(正式には立帽子という)姿は20世住職と思われます。その左は21世住職の哲圓和尚で、一番左がその寺族(妻)です。左下の小学生が先代の22世肇童和尚です。

また20世の右は善明寺ご住職です。当山の本寺代理としてご一緒いただいたと思われます。



「昭和7年撮影と考えられる背景」

①昭和2年生まれの前代が制服を着ており、低学年と思われます。
②本堂屋根が大雪で損壊し、昭和2年に総瓦葺きに改修されました。併せて大正から昭和にかけて諸整備が進められ、昭和7年に庫裡屋根が瓦葺きとなりました。そのことを示す二十世謹書の棟札があり、さらに別にもう一枚、長年にわたる諸整備が円成したことを示す同年に納められた棟札も残っています。昭和8年には大きな出来事はありませんでした。

このような古い写真が残っていたら、ぜひお知らせください。